

令和5年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

| 学年 実施月日 | | 生徒数 (人) | 平均正答率(%) | | | 平均無解答率(%) | | |
|------------|-----|------------|----------|------|------|-----------|------|-----|
| | | | 国語 | 数学 | 英語 | 国語 | 数学 | 英語 |
| 3 年 | 学校 | 41 | 66 | 45 | 40 | 3.9 | 12.4 | 6.7 |
| | 大阪市 | — | 67 | 49 | 44 | 5.2 | 11.0 | 6.6 |
| 4月18日 | 全国 | — | 69.8 | 51.0 | 45.6 | 4.6 | 9.6 | 5.7 |

令和5年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

＜国語＞

「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」については、全国平均を上回ることができた。しかし、「情報の扱い方に関する事項」については、全国平均を下回る結果となった。無解答率は全国平均の4.6％に対して、3.9％という結果であり、意欲的に調査に臨む姿勢を見ることができた。

＜数学＞

「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のどの領域に関しても全国平均を下回る結果となった。ただ、個別の問題で見ると箱ひげ図の箱に着目して理由を説明する問題に関しては、全国平均を4.5ポイント、大阪府の平均を9.9ポイント上回る結果となった。

＜英語＞

「聞くこと」と「読むこと」について、大阪府の平均正答率より約6％下回った。また、「書くこと」については大阪府の平均正答率より約4％下回った。ただし、正答数が15問以上の割合は、大阪府8.4％、全国7.3％に対して、9.5％で上回ることができた。

【今後に向けて】

＜国語＞

複数の情報を比較したり、関連づけたりして検討し、課題に取り組むことで、「情報の扱い方に関する事項」についての力の定着をはかっていく。また毎授業の課題や朝学習でのプリント学習を通して、語彙力の定着をはかっていく。さらに、古文の応用問題を数多く取り組んでいくことで、古典に前向きに取り組む姿勢を育てていく。

＜数学＞

4つの領域すべてにおいて、基礎的な力を向上させる必要がある。日々、小テストなどを通して基礎的な力を定着させ、あわせて発展的な問題にも取り組み、応用力も身につけていく。

＜英語＞

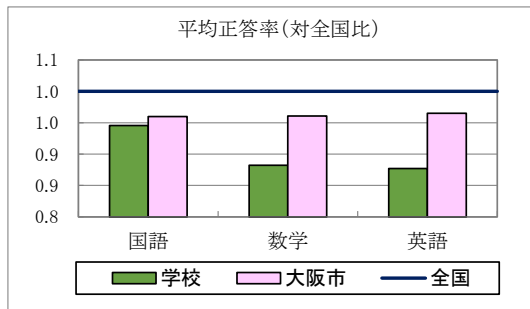
4技能すべてにおいて基礎の定着が必要である。そのためには単語力の向上が必要である。単語小テストを通して、単語力の向上に努める。また、演習問題を通して応用力の向上にも引き続き取り組む。

令和5年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

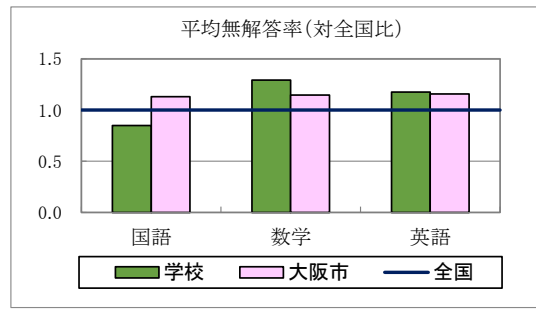
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

○全国学力・学習状況調査結果

| | 平均正答率(%) | | |
|-----|----------|------|------|
| | 国語 | 数学 | 英語 |
| 学校 | 66 | 45 | 40 |
| 大阪市 | 67 | 49 | 44 |
| 全国 | 69.8 | 51.0 | 45.6 |

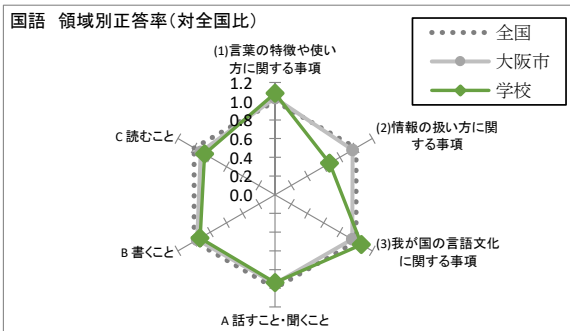
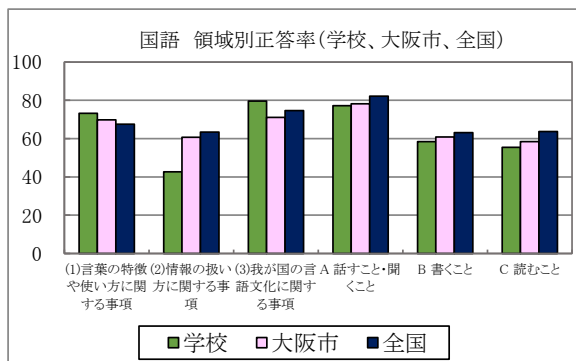


| | 平均無解答率(%) | | |
|-----|-----------|------|-----|
| | 国語 | 数学 | 英語 |
| 学校 | 3.9 | 12.4 | 6.7 |
| 大阪市 | 5.2 | 11.0 | 6.6 |
| 全国 | 4.6 | 9.6 | 5.7 |



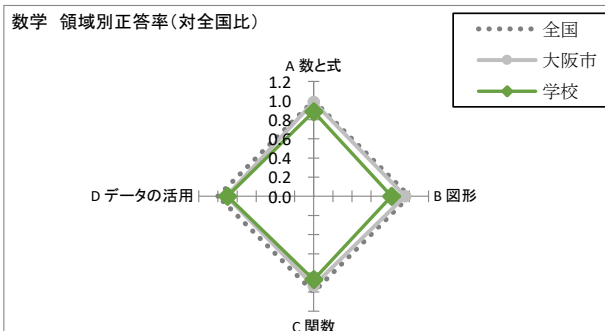
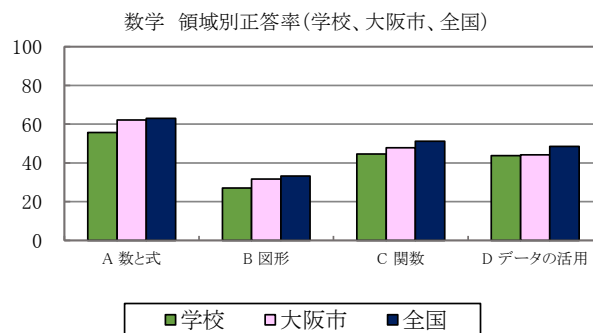
【国語】

| 学習指導要領の内容 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い方に 関する事項 | 2 | 73.2 | 69.8 | 67.5 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 2 | 42.7 | 60.7 | 63.4 |
| (3)我が国の言語文化に 関する事項 | 3 | 79.7 | 71.1 | 74.7 |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 77.2 | 78.2 | 82.2 |
| B 書くこと | 2 | 58.5 | 60.8 | 63.2 |
| C 読むこと | 4 | 55.5 | 58.5 | 63.7 |



【数学】

| 学習指導要領の領域 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|----------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と式 | 5 | 55.7 | 62.1 | 63.0 |
| B 図形 | 3 | 27.0 | 31.7 | 33.2 |
| C 関数 | 4 | 44.6 | 47.8 | 51.2 |
| D データの活用 | 3 | 43.7 | 44.2 | 48.5 |



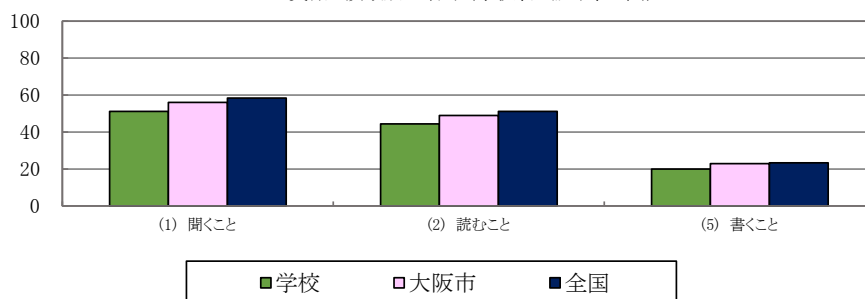
令和5年度 梅南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

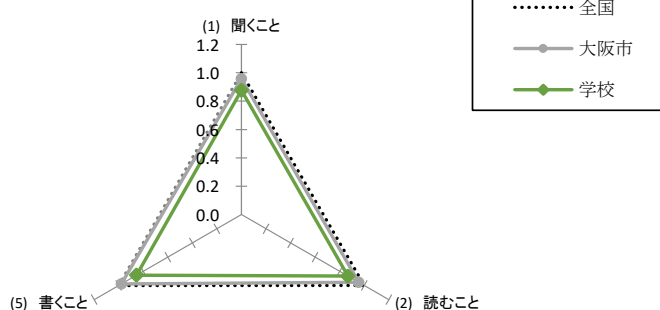
【英 語】

| 学習指導要領の 領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|----------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1) 聞くこと | 6 | 51.2 | 56.0 | 58.4 |
| (2) 読むこと | 6 | 44.4 | 48.9 | 51.2 |
| (3) 話すこと[やり取り] | 0 | | | |
| (4) 話すこと[発表] | 0 | | | |
| (5) 書くこと | 5 | 20.0 | 22.9 | 23.4 |

英語 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



英語 領域別正答率(対全国比)



令和5年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

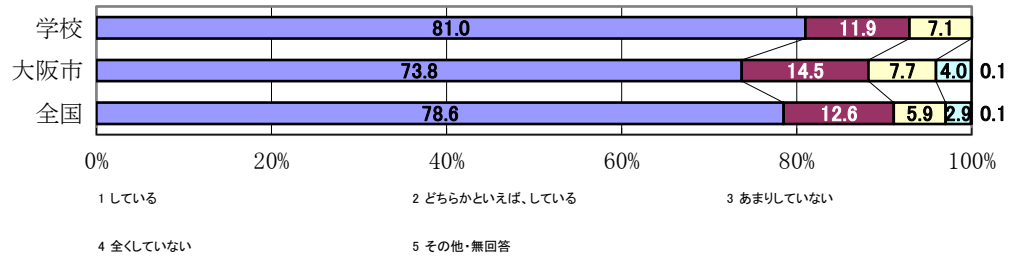
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

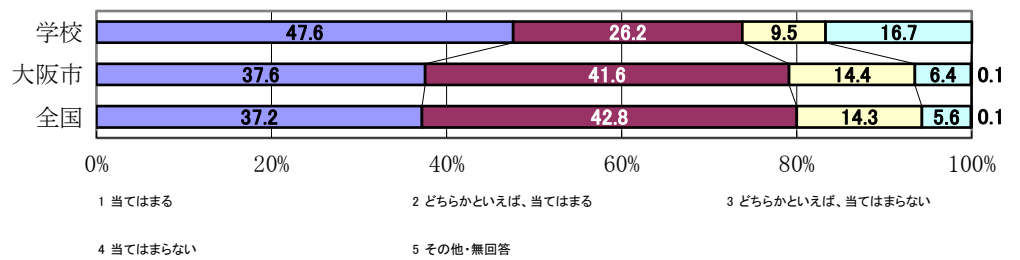
1

朝食を毎日食べている



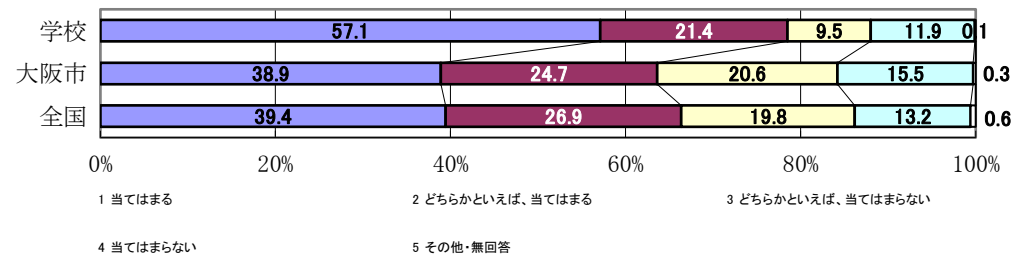
4

自分には、よいところがあると思う



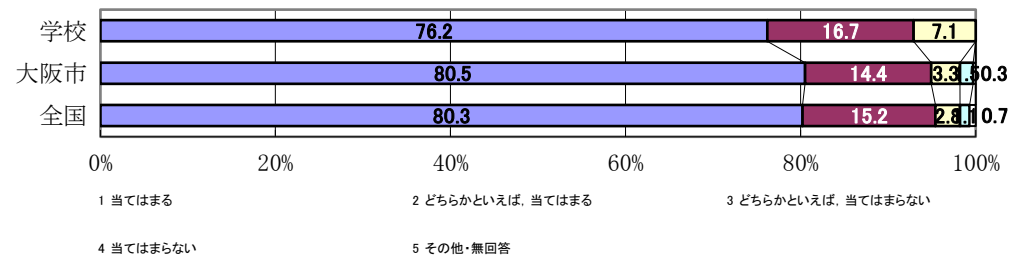
7

将来の夢や目標をもっている



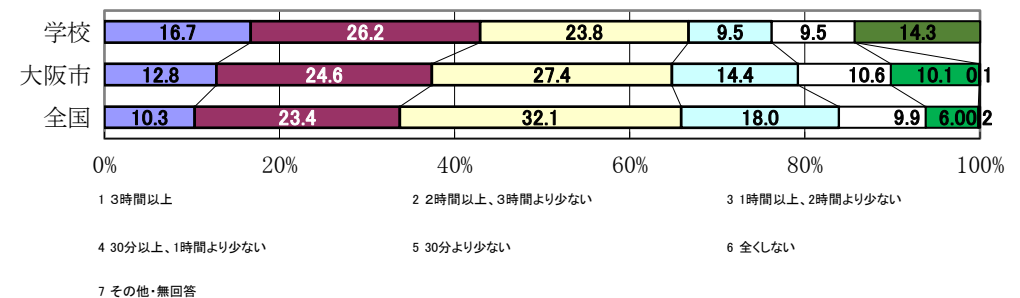
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



17

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます)



令和5年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

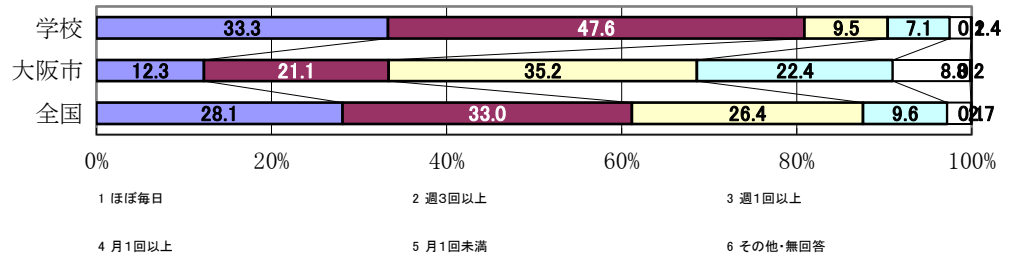
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

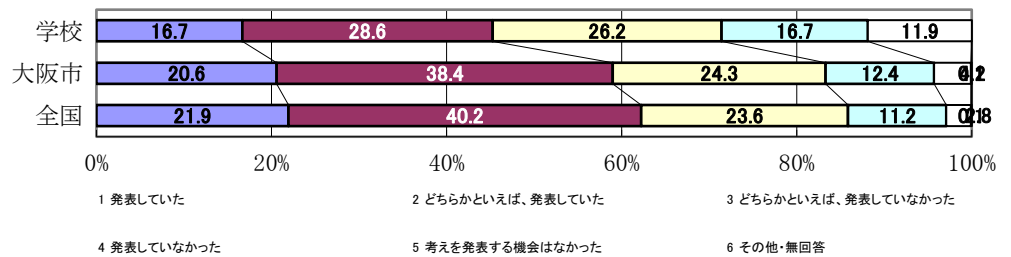
33

1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



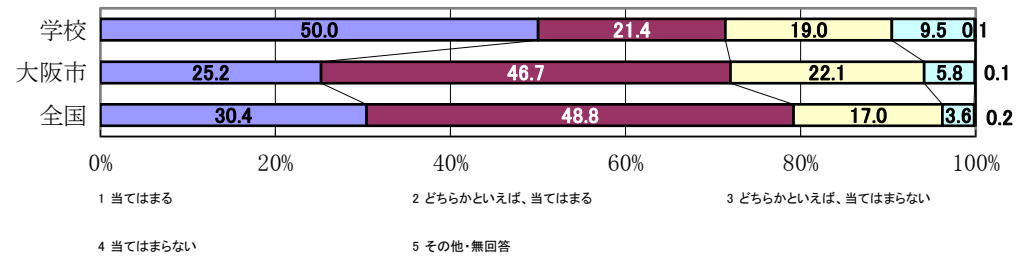
36

(1、2年生のときに受けた)授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



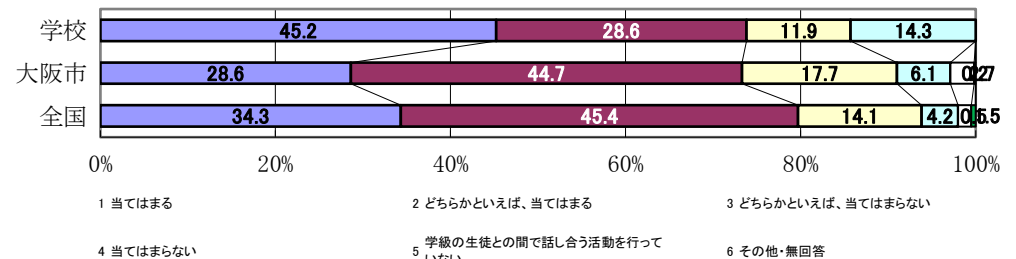
37

(1、2年生のときに受けた)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



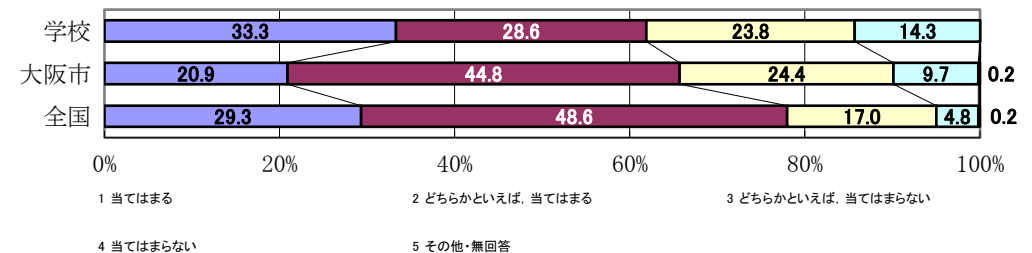
40

学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



44

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている



令和5年度 梅南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問紙より

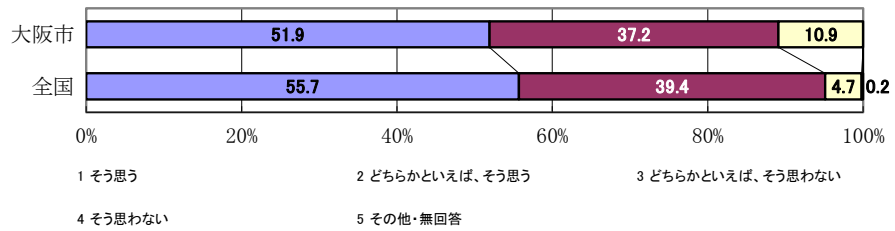
質問番号
質問事項

9

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いている

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

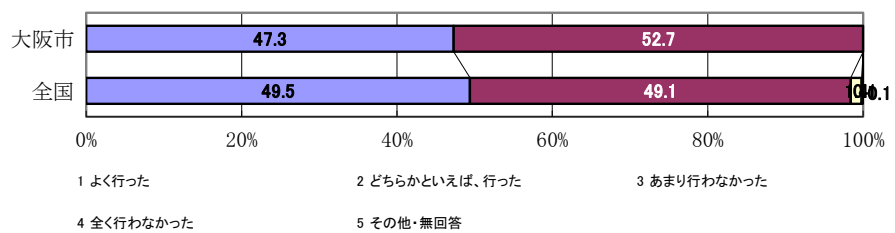
学校 「どちらかといえば、そう思わない」を選択



11

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をした

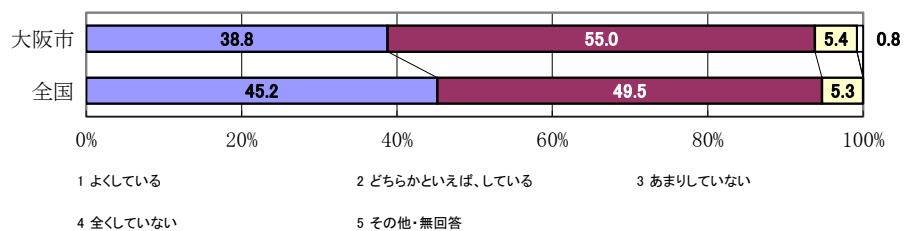
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



22

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている

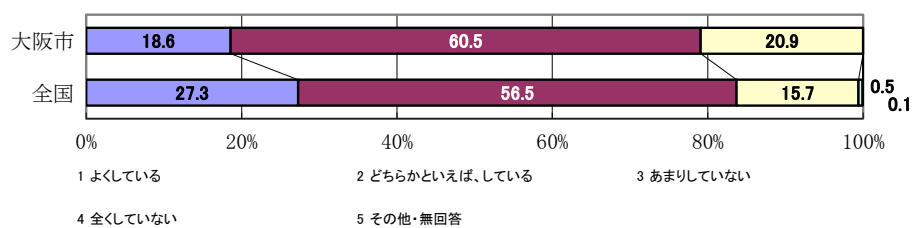
学校 「よくしている」を選択



23

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている

学校 「あまりしていない」を選択



33

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた

学校 「あまり行かなかった」を選択

